

Nocardia 属菌の関与が疑われたアイガモの肺膿瘍：岡

山県岡山家保家畜病性鑑定課 橋田明彦

2023年9月、アイガモ飼養農場において導入した雛で、ふらつきや歩行困難などの症状を示し斃死する個体が増加したため4羽について病性鑑定を実施。剖検では3/4羽の肺背側面に直径1mm弱の硬質な白色小結節を複数認めた。病理組織学的検査では肺小結節部に一致して化膿性肉芽腫性炎を確認。グロコット染色では膿瘍内部に分枝する糸状の菌体を認め、グラム染色で陽性を示した。細菌検査では有意菌分離なし。真菌検査を実施したところ、全ての個体の肺から綿毛状コロニーが分離され、形状及び52℃の高温でも発育可能であったことから *Rhizomucor* 属菌と推定したが、*Rhizomucor* 属菌の免疫染色は陰性。*Nocardia asteroides* を一次抗体とした免疫染色の結果、陽性を示したことから *Nocardia* 属菌の病変形成への関与が疑われた。
Nocardia 属菌は日和見感染の原因であることから導入雛の免疫力低下が示唆された。また家きんでの報告は少なく稀な症例であると考えられた。